学校番号	105

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育（実教出版）						
副教材等	ﾆｭｰﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ家庭科 2020						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもについて、科学的な理解に基づいた知識と技術を身につけます。自分で考えながら実習を行い、問題点があれば、友人と共に考え、問題を解決していく能力を養います。
・学んだことを、自分の生活に活かしていくような態度を養います。
・実習作品、実習レポートを提出して下さい。失敗しても、きちんと分析することで、成長することができます。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に役立つような能力と態度を育てる

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援にかかわっていこうとする態度を身につけている。	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、試行錯誤しながら、その解決方法を探っていこうとする能力を身につけている	保育に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 実習レポート 実験レポート テーマ研究、発表	実習レポート 実験レポート プリントの記述 テーマ研究、発表	友人と協力しながら、自分たちで手順を考えながら、実習ができているかを評価する。 失敗したときに、原因を考え、解決策を見出そうとしているかどうかを評価する。	定期考査 レポート テーマ研究、発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達	1.　子どもの発達の特性 1節　発達と乳幼児期の意義 2節　発達と保育環境 3節　児童観と発達感 2.　子どもの発達の過程 1節　子どもの発達 2節　子どもの精神発達 3節　人間関係の発達	○	○		○	a：乳幼児期の子どもに関心を持ち、乳幼児期の特徴理解に主体的に取り組もうとしている b：胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。 d. 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている	授業態度 プリント 実習レポート 定期考査 作品
	保育実習	子どもの発達を促す玩具の製作を行う	○	○	○	○	a: 子どもの発達の特徴と発達の経過について理解している。 ｂ:発達段階をふまえて、乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作している c:子どもが喜ぶだけではなく、使って、安全なものをつくる d：子どもの玩具とはどういうものか駄々しく理解している	
2学期	子どもの保育・生活	1.　子どもの生活 1節　生活と養護 2節　子どもの遊び 3節　生活習慣の形成 4節　健康管理と事故防止 2.　子どもの保育 1節　保育の意義と重要性 2節　家庭保育と集団保育 3節　保育の方法	○	○		○	a:乳幼児の生活リズムを把握し、子どもが心身の健康を保つためには養育者の働きかけや配慮が必要であることを理解している b:子どもの遊びの意義について考えている ｄ:集団保育の意義と形態、保育内容を理解している	授業態度 プリント 実習レポート 定期考査
	保育実習	子どもの事故の特徴を知り、自分が住んでいる身近な町で対策を考える	○	○	○	○	a:子どもに起こりやすい事故を予測し、対策を考えている b：自分が住んでいる町で事故の起こりやすい場所を調べ、対策を考える c：事故を防ぐためにできることを実践する ｄ:子どもの事故について正しく理解する	

3学期	子どもの福祉	1.　子どもの福祉 2.　子育て支援	○	○		○	a:子どもに関する法律や制度を知り、施策や施設の現状を把握している b:子どもが健全に育つために必要な支援を考えている d:子どもの福祉や子育て支援について、正しい知識を持っている	授業態度 プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。